

平成29年度 富士見小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

心豊かで健やかな体を持ち，創造性豊かに自ら学び自ら考え，主体的に判断し行動し，よりよい社会の発展を目指して，たくましく生きる児童の育成を目指す。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- 心豊かで，思いやりのある子ども（心豊かな子）
- よく学び，工夫する子ども（よく学ぶ子）
- 健康で，たくましい子ども（たくましい子）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

子ども一人一人のよさや強みを探し，見つけ，つくり，それをほめて伸ばす指導の充実により，児童の多様な個性・能力を伸長し，互いの良さを生かしながら，支え合い高め合える集団を形成して，すべての児童が自信と誇りの持てる学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的に学習に取り組む態度の育成
- (2) 他者への思いやり，規範意識，自己有用感の育成
- (3) 体力の向上と健康の保持増進
- (4) 教職員の資質能力の向上
- (5) 開かれた学校づくりの推進

宮の原地域学校園教育ビジョン

「心豊かで輝く子どもの育成」

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学校運営 】

- 児童一人一人のよさや強みをほめて伸ばす指導の充実

【 学習指導 】

- 主体的に学習に取り組み，生き生きと学び合う児童の育成

【 児童生徒指導 】

- 基本的な生活習慣の確立と自己有用感の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

- 健やかな成長を育み，基礎体力の向上を目指して運動に親しむ児童の育成

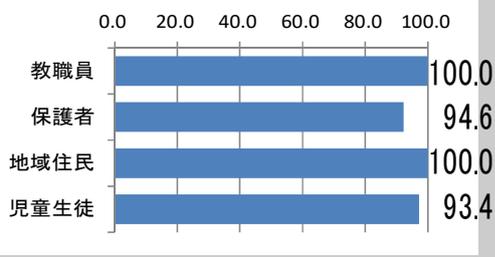
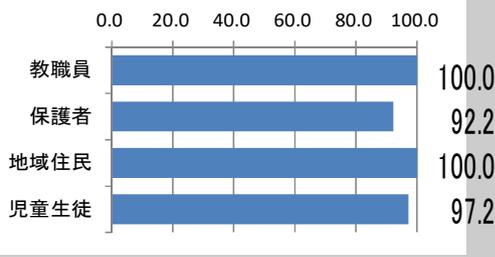
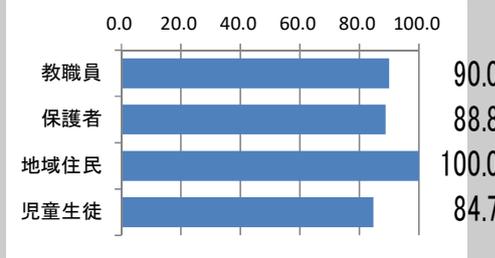
5 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

グラフについて

グラフは肯定的評価の割合を示している。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 保護者 90%</p>	<p>①学校行事等において、児童が主体的に活動する場を多く設定し、活気あふれる学校づくりをする。</p> <p>②誰もが居場所を確保できる学級経営に努める。</p> <p>③授業では、学習意欲を高める多様な体験的学習の工夫をする。</p> <p>④縦割り班活動や学年合同活動等、及び日常的な交流活動を実施し、児童が意欲をもって活動できる場を設定する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校行事や学年行事において、児童主体の活動や縦割り班活動、学年合同活動等で意欲的に取り組む姿が見られた。 体験活動を取り入れ、児童が主体的に学ぶ学習を設定した結果、意欲の向上につながった。  <p>【次年度の方針】 保護者 90%</p> <p>継続 ・児童の帰属意識を高め、主体的に活動できる学級経営に努める。</p>
	<p>A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 保護者 90%</p>	<p>①ほめて伸ばす指導を軸に、児童のよさや指導過程を、学年または学校全体で共有し、継続的に指導に当たる。</p> <p>②教育相談や個人懇談等を計画的に実施し、個に応じた支援に努める。</p> <p>③他学級との授業交換や学年合同活動を行い、広く児童理解・学業指導に努め、児童が教師及び児童相互の信頼関係を深めながら、学校生活を送れるようにする。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年で指導方針を共有し、継続的に指導を行った結果、児童指導・学習指導の充実が図れた。  <p>【次年度の方針】 保護者 90%</p> <p>継続 ・「ほめて伸ばす指導」を軸に、児童のよさや指導経過等を、学校全体や学年で共有して指導に当たる。</p>
	<p>A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員 85%</p>	<p>①授業と生活の「みんなのやくそく」による日常指導の充実を図り、素早く個に応じた対応に努める。</p> <p>②教師による生活当番活動を実施すると共に、保護者との連携・協力を図り、支援体制を充実させ、個に応じたきめ細やかな対応を心掛ける。</p> <p>②<u>道徳教育の充実を図り、全校での道徳の公開授業を実施する。</u></p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校全体で規範意識の向上が図れるような態勢を整えて複数で指導に当たるなど、秩序と安全に配慮を行った。 下校時や学年集会時に学年全体での日常指導を行い、共通理解のもとで指導の徹底を図った。  <p>【次年度の方針】 教職員 85%</p> <p>継続 ・規範意識を高め、秩序と安定した学校生活を送れるよう、継続した指導を行う。</p>

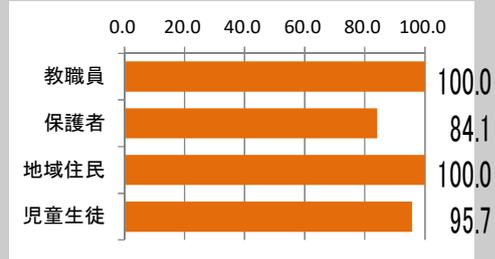
A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。

【数値指標】 保護者 85%

①教材開発・課題提示の工夫など、一人一人の実態に応じた指導により分かる授業を行う。
 ②個・学級・学年の実態を把握するとともに、4年生以上の国語・算数でTTや少人数指導など、学習形態の工夫を図り、個に応じたきめ細やかな指導を行う。
 ③教員の指導力の向上を目指し、学年ごとに研究授業と授業後の研究会を実施して、校内研修の充実を図る。
 ④朝の学習として、漢字や計算の繰り返し学習を週1回ずつ実施したり、掲示資料で聞き方や話し方の指導をしたりする。
 ⑤各学年の発達段階に応じて宿題の出し方を工夫したり、「家庭学習のしおり」を家庭に配付したりして、保護者の協力を得て、家庭学習の習慣化を図る。

【達成状況】

・授業の基本である「めあて・まとめ・振り返り」の徹底を図った。
 ・算数を中心に研究を行い、授業研究を通して指導力向上が図れた。
 ・算数の少人数指導によるきめ細かい指導により、学力や学習意欲の向上につなげることができた。



【次年度の方針】 保護者 85%

継続 ・『つかむ』『考える』『深める』『確かめる』という指導過程の授業を展開し、教材研究に努めるなどして分かる授業の充実を図る。

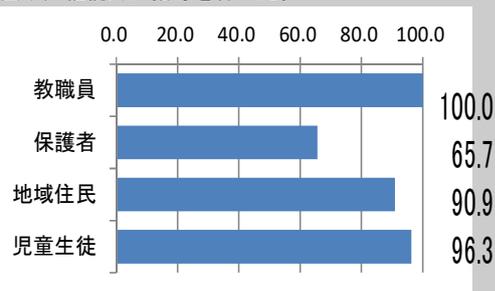
A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。

【数値指標】 児童 90%

①教職員の協力のもと、いじめのない学級経営に努め、楽しい学校生活を送るためのアンケートやいじめアンケート・教育相談の実施により、職員間で共通理解を図り、いじめのない学級づくり、早期発見・早期対応に努め、学校全体でいじめ対策に取り組む。
 ②いじめ等対策委員会を設置し、組織的に対応し早期解決を図るとともに、定期的な児童指導報告等を通し学年・学級の実態を把握し、いじめの起こらない環境づくりに努める。
 ③携帯電話やメール等、情報モラル教育の強化に努めるとともに、「いじめゼロ強調月間」における取組やいじめに関する各種たより、「宮っ子心の教育」に係る児童会主体の活動のさらなる充実を図る。

【達成状況】

・いじめに関する緊急ケース会議や情報共有により、組織的に解決を図ることができた。
 ・児童指導報告を随時行い、指導方針の共通理解を図り、継続的に指導を行った。



【次年度の方針】 児童 90%

継続 ・職員間で共通理解を深め、学校全体でいじめ対策に取り組む。

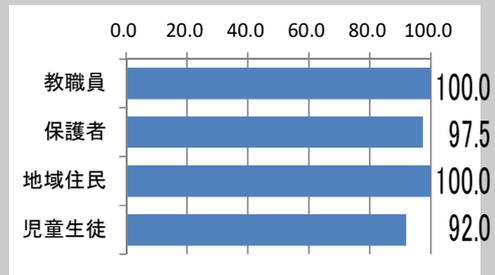
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている

【数値指標】 保護者 90%

①学習状況調査やアンケート等の児童の実態から、各教科・各種年間計画を見直し、自校化を図る。
 ②学校評価・学校行事アンケート等により、児童や保護者の願いを生かした、よりよい学校行事・学年行事・学習活動を実施する。

【達成状況】

・良好な実施状況であった。



【次年度の方針】 保護者 90%

継続 ・地域学校園とも連携を図り、学校行事の実施時期を検討する。
 ・行事等の反省をもとに、よりよい計画に修正実施していく。

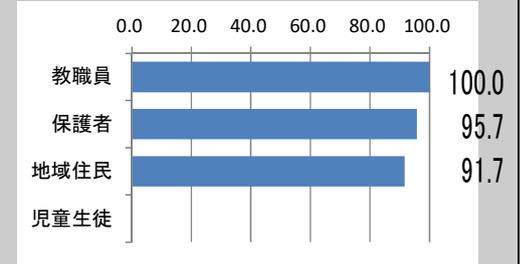
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。

【数値指標】保護者 90%

- ① オープンスクール・土曜授業や親子給食など機会をとらえて、保護者や地域の方に学校を公開する。
- ② 各種たよりを定期的に発行し、それをHPで公開する。
- ③ PTA 運営委員会や地域協議会において、学校の取組を説明したり、意見交換したりして、学校の現状や課題について共通理解を図り、改善策を考え実践していく。

【達成状況】

- ・学校開放の機会をとらえ、学校の取組について説明した。
- ・学校だよりや学年だより、富士見アルバム等を通して学校の情報を提供した。



【次年度の方針】保護者 90%

継続 ・今後とも開かれた学校づくりを目指し、保護者・地域等に情報を提供する。

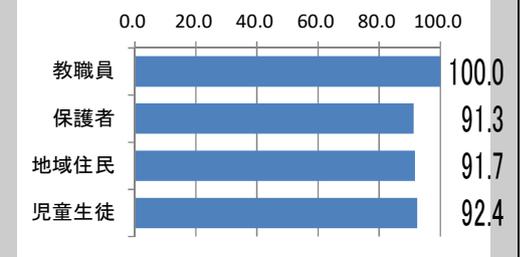
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。

【数値指標】保護者 90%

- ① 地域協議会等と連携を図り、新たな地域人材の募集などを行いながら、地域探検の補助や地域教材、学習支援など、学校支援ボランティア等を活用した授業を計画的・継続的に実施する。
- ② 地域の県立博物館・中央公園・市立図書館・文化会館・気象台等の文化施設を積極的に授業に活用する。
- ③ 企業等との連携を図った体験型学習を積極的に実施する。

【達成状況】

- ・博物館や中央公園、気象台、図書館等、地域施設を活用した学習を多く行った。
- ・出前授業の活用を図り、土曜授業で保護者にも公開した。
- ・読み聞かせ等の学習ボランティア活動が計画的に実施できた。



【次年度の方針】保護者 90%

継続 ・今後とも学習ボランティアの活用を図る。
・地域の人材や教育資源の有効活用を図る。

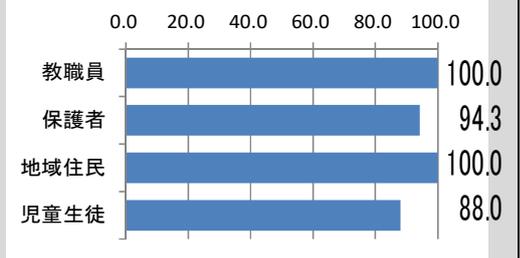
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。

【数値指標】教職員 85%

- ① 縦割り班での清掃指導の充実を図ると共に、学年集会や学級活動において発達段階に合わせた清掃の仕方の指導を行う。
- ② 草花栽培等校内緑化や掲示コーナーの環境を計画的に整備する。
- ③ 日常的に校内巡視を行うと共に定期的な安全点検を実施し、安全な学習環境づくりをする。

【達成状況】

- ・花壇の整備が行われ、潤いのある校内緑化環境となった。
- ・掲示物が定期的に更新され、多くの児童作品が紹介された。
- ・定期的な安全点検により、迅速な修繕が行われた。



【次年度の方針】教職員 90%

継続 ・特別教室の備品等の整備を行っていく。

教育活動の状況	A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】教職員 85%	<p>①中学校教員による6年生への乗り入れ授業の実施や全市一斉の進学先中学校訪問により進学への不安解消や希望・期待感を高める。</p> <p>②小中合同の取組を行う。(挨拶運動・給食後の歯みがき・目の体操・サーキット運動等)</p> <p>③学校園一斉のお弁当の日の実施や食育だよりの発行、共通献立の実施等を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同のあいさつ運動やお弁当の日、相互乗り入れにより授業等、地域学校園の取組を行った。 <p>継続 ・今後とも小中の連携を深め、9年間を見通した計画を実施する。</p>	
		<p>①2回、クラスごとに落ち着いた雰囲気の中で朝の読書を行うとともに、図書室利用の時間の活用を工夫する。</p> <p>②各学年オープンスペースへの読書コーナーの設置や並行読書により、身近に読書に親しめる環境を作る。</p> <p>③図書委員や保護者・地域ボランティアによる読み聞かせを全学級、月1回実施する。</p> <p>④地域団体による素語りや読み聞かせを月1回学年ごとに実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書や読み聞かせ、総合的な学習等による図書の活用など、本に親しむ機会が増えた。 ・朝の読み聞かせやお話会など、ボランティアの活動が充実していた。 <p>【次年度の方針】児童 80%</p> <p>継続 ・図書室の有効活用やオープンスペースの読書コーナーの設置など、読書環境の整備に努める。</p>	
	A11 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】教職員 85%	<p>①あいさつボランティアや委員会、学級等で自主的な活動の推進を図るとともに、あいさつ名人の紹介等で挨拶への関心を高める。</p> <p>②あいさつ運動の様子をたより等で周知し、家庭にも協力を呼びかける。</p> <p>③日常的に呼名に対する返事等の指導の徹底を図る。</p> <p>④宮の原地域学校園全体であいさつ運動を実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝のあいさつ活動やあいさつ名人による朝会での呼びかけ等を通し、挨拶への意識は高まってきた。 <p>【次年度の方針】教職員 85%</p> <p>継続 ・自主的な気持ちの良い挨拶ができるよう、継続的に指導を行う。</p>	
		A12 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】教職員 80%	<p>①日常の言葉づかいや敬語の使い方等の指導を全職員共通理解のもと、その場その場での継続的な指導を行う。</p> <p>②職員室の出入りの場や授業の発表等で正しい言葉づかいを指導する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員室への入室時や来客への対応など、時と場に応じた指導を行った。 <p>【次年度の方針】教職員 85%</p> <p>継続 ・日常生活におけるその場その場での指導を継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での挨拶について協力を依頼する。

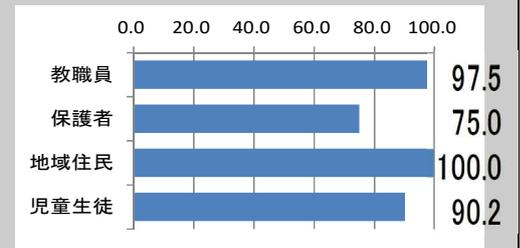
B 2 児童は交通ルールを守って安全に登下校している。

【数値指標】 地域 90%

①登下校指導を地域・保護者・教職員が一体となって実施する。週1回集団下校を実施する。
 ②交通安全教室を警察スクールサポーター、スクールガードチーフ等の協力を得て、計画的・継続的に実施したり、防犯教室を警備会社と連携して行ったりして、自他の安全を守り、実践的な理解が深められるようにする。

【達成状況】

・学年下校、集団下校時に交通安全に関する指導を行った。
 ・防犯パトロール隊やPTAによる見守り等、地域や保護者と連携した安全への取組が行われた。



【次年度の方針】 地域 90%

継続 ・今後とも各団体と連携して取組を推進する。

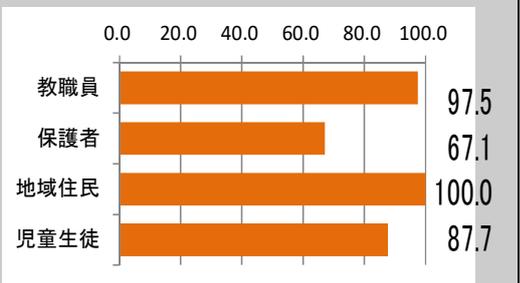
A 13 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。

【数値指標】 児童 90%

①検定カード（水泳・縄跳び・鉄棒）等を活用し、目標を持って積極的に運動を実施し、体力増強への意欲を高めるとともに、検定カードの頑張りを称賛する取組を実施する。
 ②うつのみや元気っ子プランに基づき、全員が6年生までにミニマムプランを達成できるよう体力向上に努める。
 ③業間・昼休みの時間、自由遊びを奨励するとともに遊具や運動用具の使い方を紹介する。時期によって、昼休みに体育館を開放し、先生の付き添いのもと運動に親しむようにする。
 ④学年ごとにスポーツ大会や元気っ子チャレンジに挑戦するなど、目標を持って運動に取り組ませ、体を動かすことへの意欲を高める。

【達成状況】

・各種検定表を活用し、目標を持って運動に取り組めた。
 ・元気っ子プランに学級で参加するなど、運動への意識が向上した。



・ミニマムの達成に向けて、日頃から目標を持って取り組ませる。

健康・体力

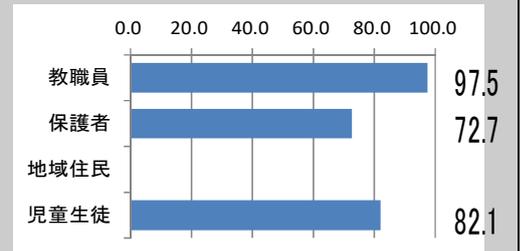
A 14 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。

【数値指標】 児童 80%

①毎日の給食指導を着実に実施したり、給食週間の取組の中で好き嫌いや栄養のバランスについての指導を行ったりして、食に関する指導を充実させる。
 ②食育だよりや保健だよりの発行やお弁当の日の実施などにより、保護者への食育の大切さに関する啓発を行う。

【達成状況】

・地域学校園における食育だよりをはじめ、各種たよりの発行やお弁当の日の実施により食への関心が高まった。



【次年度の方針】 児童 80%

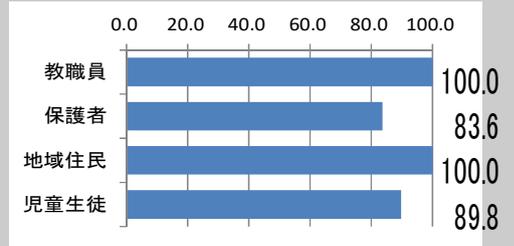
拡充 ・学級活動や保健などの授業で、食に関する指導の充実を図る。

学
習

A15 児童は、進んで学習に取り組んでいる。
【数値指標】 教職員 90%

①一人一人が自由に発言できるような学習集団作りに努めるとともに、学習活動の中で、小集団での話し合いの場を設定し、発言しやすい環境を作り、コミュニケーション力を育成する。
②ねらいを明確に示し、課題への興味関心を高めたり、適切な学習環境を整えたりして、主体的に学習に取り組める授業づくりに努める。
③各学年の発達段階に応じて宿題の出し方を工夫したり、「家庭学習のしおり」を家庭に配付したりして、保護者の協力を得て、家庭学習の習慣化を図る。

【達成状況】
・ねらいの明確化、学習内容の精選、話し合いの場の設定等により学習への取組が向上した。

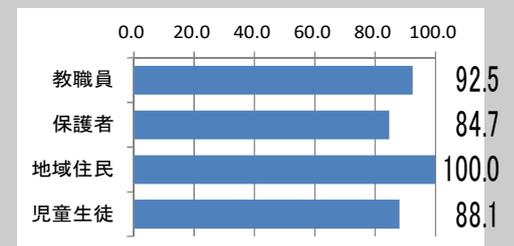


【次年度の方針】 教職員 90%
継続 ・課題の提示や教材等の工夫をし、さらに主体的に学習に取り組めるようにする。

A16 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。
【数値指標】 教職員 90%

①みんなの約束「学習編」の徹底を図り、基本的な学習態度の確立に努め、望ましい習慣を習得できるよう繰り返し丁寧に指導する。
②発達段階に応じた「話し方」「聞き方」の指導や言語活動ができるようにする。

【達成状況】
・みんなの約束（学習編）の共通理解に基づく指導が行われ、基本的な学習習慣につながった。

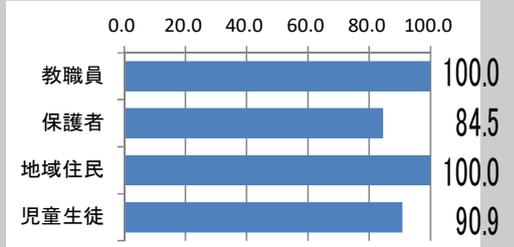


【次年度の方針】 教職員 90%
継続 ・学業指導の充実を図り、学びに向かう集団づくりに努める。

B3 教職員は、ほめて伸ばす指導に努めている
【数値指標】 児童 80%

①長所を伸ばさせるという視点に立ち、児童のよさや得意なことを見つけ、それをほめて伸ばす指導を行う。
②「まごころカード」を活用し、児童のよさや頑張りを積極的に称賛するとともに、豊かな心を育てる小さな親切運動の推進を図る。
③学校生活における児童の頑張りを認め、賞賛する表彰制度を設けたり、ホームページや各種たより等を利用して家庭や地域に知らせる。

【達成状況】
・「まごころカード」の活用や帰りの会等での称賛を保護者に連絡するなど、よさを認め、伝えることができた。

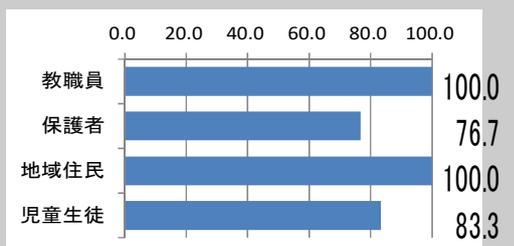


【次年度の方針】 児童 80%
継続 ・今後とも児童のよさを認め、称賛し、自己肯定感を高める。

B4 児童は地域や学校のために積極的に働いている。
【数値指標】 児童 80%

①校外の清掃活動として、なかよし通りや中央公園の「クリーン活動」を実施し、人のために働く喜びや地域への愛着を高める。
②保護者とともに、愛校の日の清掃活動を実施する。

【達成状況】
・愛校の日や「クリーン作戦」等を通し、学校や地域への奉仕の気持ちを育てることができた。地域の方から感謝の言葉をいただくことができた。



【次年度の方針】 児童 80%
継続 ・毎日の縦割り班清掃にめあてを持って取り組めるようにする。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

1 教育全体の状況

- ・全体アンケートでは、指標を達成できた項目は20項目中18項目であった。昨年度と比較すると教職員、保護者ともに数値が向上している項目が多い。
- ・市の小学校の肯定的回答率と比較すると、ほぼ同等の結果であった。
- ・アンケート全体では「学校全体に活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である」「教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている」「日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている」「学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている」は、教職員、保護者、地域、児童ともに90%を超える肯定回答率で、高い評価を得ている。

2 学校運営の状況

- ・指標の目標達成については、良好な結果が得られている。未達成項目は、「教職員の分かりやすい授業ときめ細やかな指導」（保護者）と「進んで運動する習慣」（児童）である。今後さらに学習指導に力を入れ、基礎学力の定着を図っていくとともに、運動する習慣を身に付けさせたい。
- ・教育課程は適切に実施され、学校だよりや学年だより、ホームページ、教育連絡日や土曜授業の公開等を通して保護者や地域への情報発信に努めている。
- ・「学校・家庭・地域・企業等との連携を図った学校づくり」の項目は、すべての評価対象で90%を超え、学校外の組織との連携・協力が行われている。土曜授業では企業の出前授業で保護者と一緒の学習を多くの学年で実施した。連携を図った学習の推進についての理解や周知が進んでいると考えられる。今後とも地域協議会の学校教育支援部会と連携し、各種ボランティア等を活用した学習や地域の文化施設を積極的に活用した授業を計画的・継続的に実施したい。

3 教育活動の状況

①生活

- ・挨拶に関する教職員の肯定的回答率は95%、児童は91.6%であるが、保護者は71.7%、地域は75%である。地域や家庭での挨拶の指導を継続し気持ちの良い挨拶ができるように指導していく。
- ・言葉づかいに関する教職員の回答率は90%である。保護者は74.3%、地域は66.7%、児童は83.3%である。時と場に応じた言葉づかいの指導を継続していく。
- ・登下校の安全な歩行に関する児童の回答率は90.2%であるが保護者の評価は75%である。学年下校や集団下校時の一斉指導、防犯ボランティアや保護者による立哨指導や見守りを今後とも継続し、安全に関する意識も向上を図る。
- ・いじめが許されない行為であることへの指導については、教職員、児童ともに95%を超えた評価であるが、保護者は65.7%である。学校全体の組織的ないじめ対策をさらに推進するとともに、本校のいじめ対策基本方針等を周知し、いじめ撲滅への取組を実践していく。

②生活・体力

- ・進んで運動する習慣についての児童の評価は87.7%で、目標の90%には達しなかった。自由遊びの奨励や各種検定、ミニマムプランの達成、元気っ子チャレンジへの挑戦等を通して目標を持って運動に取り組ませ、運動に親しみ、進んで運動しようとする児童を育成していく。
- ・栄養とバランスを考えた食事については、給食時の指導やお弁当の日、給食週間等を通して、栄養バランスについての指導を行うとともに、食育だよりや保護者会等で家庭の協力を要請するなど啓発を図る。

③学習

- ・落ち着いた学習への取組については、学業指導のさらなる充実を図り、みんなの約束（学習編）に基づき、学びに向かう集団の育成に努めていく。
- ・分かりやすい授業ときめ細やかな指導に関する保護者の評価は84.1%で目標の85%に達しなかった。ねらいの明確化や学習内容の工夫、まとめの振り返りの確実な実施、少人数指導等により学習内容の定着、学力向上に努めていく。
- ・読書活動の充実については、図書室の活用や朝の読書タイム、読み聞かせ、お話し会等により読書への意識は高まっている。今後は読書環境を整え、さらに調べ学習などを通して本の有効活用を進めていきたい。

本校の特色

- ・ほめて伸ばす指導に関する児童の評価は 90.9%である。まごころカードや帰りの会で教師や友達から称賛されることで自己有用感や肯定間の高揚が図られている様子がうかがえる。今後とも意識的に児童のよさを認め、称賛する場を設定していく。
- ・「学校や地域のために働く」に関する児童の評価は 83.3%である。愛校の日に行われた保護者ともに行った清掃活動やなかよし通り、中央公園の落ち葉はきなどの「クリーン作戦」等を通し、人のために働くことの心地よさを味わうことができた。地域の方から感謝の言葉をいただき、感謝される喜びも味わえた。今後とも継続して実施するとともに、活動について保護者等への周知も進めていく。

6 学校関係者評価

- ・ B 1 「読書活動の充実」の数値指標と対象を、30年度に変更する理由を教えてください。
→学校や家庭での読書の推進と物語にかかわらず幅広い分野での読書、調べ学習等での図書の活用等を鑑みた結果、実際に本を手にするのは児童であることを踏まえ、対象を児童とした。また、今年度の肯定的評価が63%であることから、さらに読書の機会を増やすとともに、児童の読書への意識の高揚を目指して80%を目標とした。
- ・ A 5 「いじめ対策」いじめの様子とケース会議について教えてください。
→近年、スマホなど SNS に係る事案が市内でも見られる。中学校だけでなく小学校でも注意が必要である。ケース会議で協議した方針をもとに、事実確認や児童への指導、保護者への連絡等を実施することになる。携帯電話やスマートフォンの適切な使用についての指導が一層求められる。
まちづくりの事業の一つとして「親と子のスマホ講座」を2月に実施した。話を聞くだけでなく、携帯会社の講師や親子が持参したスマホを用いてフィルタリングの方法などを分かりやすく説明してもらい、よく理解できた。毎年実施し、親の意識の向上を図っていきたい。
- B 2 「安全な登下校」について、地域全体の意識を高める必要がある。4月から5月に行われる「子どもの見守り活動強化月間」の一斉下校日（4月18日）は地域全体に呼びかけて、地域全体で子どもたちの見守りを行ってはどうか。
→地域協議会名で各自治会長宛の文書と強化週間・一斉下校のチラシを作成し、一斉下校時の同行下校への協力を依頼する。3月の自治会長会議まで用意し協議会長が説明の上、回覧し、協力を呼びかける。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度は20項目中、18項目で指標を達成できた。次年度も学習環境や生活環境を整え、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細やかな指導の推進に努め、児童の自己肯定感を高めるとともに、学習の基礎・基本の定着を図り、確かな学力と豊かな心、健やかな体づくりに努めていく。
- ・本校の特色である、ほめて伸ばす指導の充実に努め、児童が自信を持って学校生活を送れるようにする。
- ・学校や地域のために働く等の活動の充実を図り、人の役に立つ喜びを感じられるようにする。
- 地域学校園の指導方針に基づき、小中で一貫した取組を行うとともに、保護者や地域とも連携し活動の充実を図る。